


# 健全な男女共同参画社会をめざす会

正しい男女平等とは

[トップ](#) [入会のご案内](#) [会報](#) [活動内容](#) [リンク集](#) [お問い合わせ](#)

[会報一覧に戻る](#)

## なでしこ通信 8号

<b>なでしこ通信</b>  <b>第8号</b>  	<b>目次</b>
	<ul style="list-style-type: none"><li>○男女共同参画の予算9兆9000億円 <a href="#">ジャーナリスト 桜井裕子</a></li><li>○「めざす会」愛大学祭デビュー</li><li>○「郵政四国女性のつどい」で 「めざす会」事務局長青井美智子が講演</li></ul>

健全な男女共同参画社会をめざす会 H18・4・10

なでしこ通信 第10号

# 男女共同参画の予算 9兆9000億円

ジャーナリスト 桜井裕子

わが国では、男女共同参画を推進するために、年間9兆9千億円（平成16年度）の予算が組まれています。これはわが国を守るための防衛予算4兆9千億円の倍以上の金額になります。日本経済の将来について、最大の問題は財政の赤字だといわれ、あらゆる公費の削減が課題となっているこの時期に、国民がほとんど知らない間に、こんなに膨大な予算がついているのです。

男女共同参画社会推進にこれほど巨額の予算がつく背景には、男女共同参画社会基本法があります。同基本法前文では「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現は緊要な課題となっている（後略）と謳っています。

一見、高遇に見える理念や目的ですが、その社会に向けての啓蒙・教育活動の現場をみれば、それが掲げる理想とはほど遠いものです。教育の現場では、小学校一年生の子供たちに、紙芝居で気を引きながら、男女の性器の名称を大声で言わせ、小学校高学年ではコンドームをペニスの模型にはめて「これを使えばエイズにならない」と使用を煽っています。男女共同参画社会推進論者すなわちジェンダーフリー推進派は、低年齢からの性交指導で子供たちから羞恥心を奪い、性的規範を崩し、一夫一婦制の家庭を破壊して最終的には国家秩序や社会秩序を壊そうと狙っています。

国家秩序の破壊は、70年安保前後に荒れ狂ったいわゆる「反体制運動」に共通するものです。それが不毛なものだったことは、その最後の遺物が北朝鮮に残っている日航機のハイジャック犯以外に何も無いことから明らかです。そしてジェンダーフリー推進者の中

にも、その時代の遺物のような人々が多く見られます。

同基本法の真に目指しているのは、人類の歴史の中で自ずから生まれてきた男女の生物的な性差（セックス）やその羞恥心と社会文化的な性差（ジェンダー）を否定する「全ての性差の否定・解消」にあります。「全ての性差の否定・解消」が「性の規範や秩序の否定」と結びついて過激な性教育になっているわけです。

いわば同基本法が震源地となって、本来培われるべきたしなみや情操を欠いた人間がつくられ、家庭から国家まであらゆるレベルで、歴史に根ざした伝統や秩序、文化が破壊されているのです。「正論」H17年12月号より

※桜井裕子さんは書籍のプロデュースや制作を担当する気鋭のジャーナリスト、来年1月27日に愛媛大学で講演していただきます。お楽しみに。

## 「めざす会」愛大学祭デビュー

11月11日から13日まで開催された愛媛大学の学祭で、「めざす会」は学内の一室（総合研究棟II27講義室）を借り、パネル展や資料の展示発表をおこないました。日本古来の男女観のすばらしさを再発見するとともに、ジェンダーフリーの弊害について提起するもので、「愛大メディア・リテラシー研究会」（代表・栗原宏文教授）の展示にあわせて実施させていただきました。

展示は新聞でも報じられました。13日付産経新聞

## 「教科書採択報道 情報操作を紹介 愛媛大研究会」

報道による情報操作の危険性を研究する愛媛大学メディアリテラシー研究会（代表＝栗原宏文・法文学部教授）は12日、今夏の中学校教科書採択をめぐる新聞報道を素材に、印象操作や偏向報道について学ぶ展示発表会「誰でもできる情報操作」を同大学で行った。新聞紙面の切り抜きを展示し、細かな文末表現や記事の配列による印象操作や、扶桑社版に対する賛否両派の取り上げ方の違いなどを「情報操作の事例」として詳細に紹介。見学した学生らも熱心に感想を書き込んでいた。また、「健全な男女共同参画社会をめざす会」（小笠原ミワ子会長）もジェンダーフリー運動の問題点をパネル表示で指摘した。

## 「ある学生の感想」

とても勉強になりました。男女という概念は非常に難しいものではあると思いますが、やはりごく自然に「男らしさ」や「女らしさ」を受け入れ、お互いを尊重することが重要だと思います。作られた平等や強引な権利で、生物学的かつ文化的な男女の違いをうめるべきではないと思います。

私は男ですが、女性をうらやましいと思うこともあれば、男でよかったと思うこともあります。一長一短、違うから必要なのだ、と思います。たいへんすばらしい展示をありがとうございました。（法文学部4年生）

## ※文科省、ジェンダーフリー教育調査に乗り出す (産経新聞 11月11日)

### 「ジェンダーフリー教育を調査」

男らしさや女らしさなどといった「性差」を否定するジェンダーフリー教育が学校に持ち込まれている問題で、文部科学省は10日までに、都道府県教委と政令市の教育委員会に調査の文書を通達し、全国の公立学校と幼稚園の実態把握に乗り出した。ジェンダーフリー教育をめぐるっては、同省が設置した「教育御意見箱」に苦情が寄せられているほか、自民党の調査でも全国から約3千5百件の保護者の訴えが相次いでいる。同省は12月半ばまでの回答を求めており、具体的な「ジェンダーフリー蔓延度」の初めての实態把握を行う。

今回の調査対象は、学校における男女の取り扱いが中心。小・中学校、高校などの調査項目では静岡や山形、宮城県などで明るみに出た「キャンプや林間学校、修学旅行の際の男女同室の宿泊」の実態を調べるほか、川崎市の高校で判明した「体育の授業や身体測定の際の男女同室での着替え」の状況などを全国規模で確認する。

さらに、「運動会や体育祭で、騎馬戦や徒競争を男女混合で行っているか」「教職員や児童生徒の呼び方を男子も女子も統一的に {さん} としているか」「これまで保護者から苦情があったか」一なども調査項目に取り入れた。幼稚園に対しては「桃の節句や端午の節句などの行事を男女平等の観点から取りやめているか」などを調査する。

文部科学省では「児童生徒の発達段階を無視するなどの不適切な事例があれば指導が必

要。だが、さらに個別にくわしく実態を調べる必要があり、調査には時間がかかる」としている。

## ★★★めざす会だより★★★

### めざす会・事務局長・青井美智子、徳島で講演

10月22日、徳島市内で行われた全郵政（全日本郵政労働組合）四国本部主催による女性のつどいに、本会・玉乃井誠子副会長と青井美智子事務局長が参加、「女性が社会で生きていくために」と題して青井事務局長が講演しました。約40名の参加者は男女共同参画の危険性を知るとともに、わが国の伝統的な智恵や感性のすばらしさにあらためて思いを深くしていました。

#### 「感想」

- グローバルな視点からわかりやすく先生の今までの経験や考えを話してくれたことに大変共感できた。
- 男女差別と男女の生まれながらの特性の差がわかった。
- 男女共同参画と男女平等は同じではないということがわかった。
- ジェンダーフリーの考え方では、いい社会が出来ないように感じた。
- へんに個人らしさを強調して、本来の日本らしさや女性らしさを失っていくのはどうかと思った。
- 祖先が歩んできた道をもっと知るとともに、自分がこれから何をしていくべきか、社会

的役割について考えさせられた。

## ■□□ 事務局からのお知らせ ■□□

定例学習会は原則として第1木曜日午後と第3火曜日午前に開催しています会場については事務局（下記）にお問い合わせ下さい。

1ページにもありましたように、1月27日（金）夜7時から、愛媛大学において桜井裕子氏をお迎えし、「めざす会」第三回講演会を行います。詳しい内容は近日中にお知らせいたします。お知り合い・ご家族お誘い合わせの上、ぜひお越し下さい。

## ■□□ 会員募集のお知らせ ■□□

私達は、愛媛県や松山市などの男女共同参画条例を良識あるものにしたり、誤った男女共同参画の動きやジェンダーフリーに基づいた教育をただしたりする活動を行っています。年会費は1千円です。

※会報「なでしこ通信」をお送りします（年6回）。

※講演会・学習会等の行事についてご案内いたします。

## ■□□ 更新のお知らせ ■□□

すでに会員になっておられる方はどうぞ更新をお願いします。会費のきれる方は事務局からお知らせしております。

## 健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 小笠原ミワ子

事務局 青井美智子

〒790-0931松山市西石井1-3-30

電話090-3181-4004 FAX 089-964-3903

メール [t64r59@bma.biglobe.ne.jp](mailto:t64r59@bma.biglobe.ne.jp)